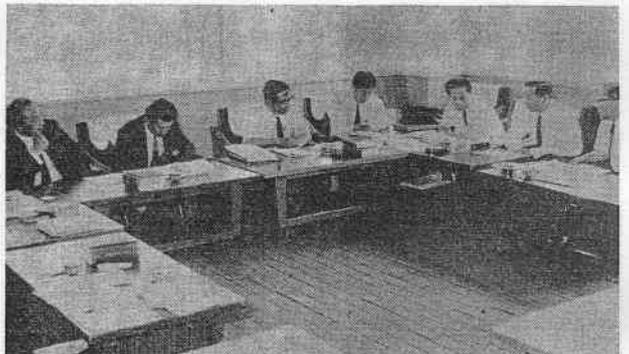


おばま市議会だより

編集・発行
福井県小浜市役所



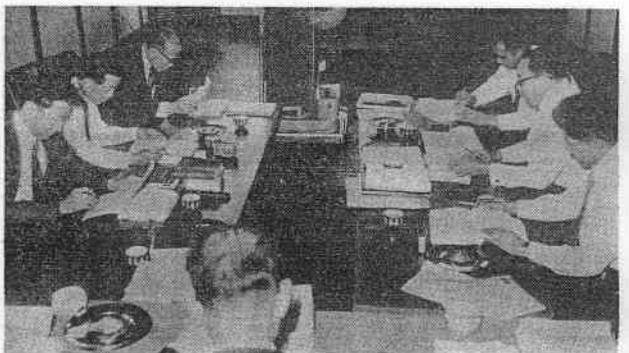
地方自治を支えるもう一つの車輪……



その役割りを市議会が果しています。

議会

上段総務委(右)
と建設委
下段産経委(右)
と民生委



市民の関心を呼んだ「原子力発電所小浜市誘致反対と若狭湾集約化反対」の請願に対して、東海村、福島県大熊町などの現地調査や科学技術庁との協議など、勢力的な活動を見せました。

各常任委員会での、当面の問題、動向などは次のとおりです。
総務常任委員
市行政機能のチェック。とくに行政の効率化、機動化への検討は、この部門が担当。

市議会の市政の議決機関を構成する市議二十六名は、さらに四つの部門に分れて、各議案の詳細な検討、審議を行なう専門部門「常任委員会」を設けています。ここでは、定例市議会へ提出される各議案審議のほか、各部門それぞれが、管内の視察、チェックや、先進地の視察、市内関係団体、機関との交流など「市民に密着した市政」の実現へ、幅広い活躍を続けています。

建設常任委員
道路、橋りょうなど、都市機能への追求は、この部門が担当します。とくに、最近のモータリゼーションに対応して、道路橋りょうなどが大形化してき

市議員長 中沢吉次・副委員長 岡本治・委員 山鼻至誠・畑中優・浦谷首次郎・浜野是・高



【写真】
上段 中沢総務委員長
(右)と小川建設委員長
下段 石橋産経委員長
(右)と的場教民委員長

二
委員長の場治三郎・
副委員長 塩野勇次郎・
委員 松井正一・池田勘
右エ門・岡庄蔵・三國正

建設常任委員
自然と調和した経済空間
その実現には、一次産業の健全な育成と体質改善が、前提となります。その意味から、ここでは、まず漁業基地の拡大と整備、農林業の体質改善が、土

委員 小川真市・副委員長 大住佐吉・委員 森下智・寺島芳夫・堂前武司・小谷清章
産業経済常任委員
福祉の教育、生活環境の整備、我が国の政策で大きく取り上げられてきている政治姿勢も地方自治体が、老人医療などに見せた社会福祉への積極的な姿勢を根幹にしています。文化財教育の問題、とくに最近の大形消費時代を背景に、ごみ

し尿対策が、ここでは問題の焦点となって来ています。
委員長の場治三郎・
副委員長 塩野勇次郎・
委員 松井正一・池田勘
右エ門・岡庄蔵・三國正

委員 中沢吉次・副委員長 岡本治・委員 山鼻至誠・畑中優・浦谷首次郎・浜野是・高

委員 小川真市・副委員長 大住佐吉・委員 森下智・寺島芳夫・堂前武司・小谷清章
産業経済常任委員
福祉の教育、生活環境の整備、我が国の政策で大きく取り上げられてきている政治姿勢も地方自治体が、老人医療などに見せた社会福祉への積極的な姿勢を根幹にしています。文化財教育の問題、とくに最近の大形消費時代を背景に、ごみ

委員長の場治三郎・
副委員長 塩野勇次郎・
委員 松井正一・池田勘
右エ門・岡庄蔵・三國正

豊かな生活空間の実現へ 明日を見つめる各常任委

「議会だより」の発刊にあたり、日ごろ市民各位からお寄せいただいている暖かいご指導と、ご協力を、厚くお礼申し上げます。ご承知のように、我が国の政治、経済の動向は、近時極めて

環境汚染、社会福祉への対策が、次第に大きな比重を見せてきております。これら社会状況の中で、地方自治体、とくに経済基盤に恵まれない地方自治体が、どう対処

をどうに置くかか。最近、クローズアップされてきている低開発地域への開発のメリット、デメリットの価値判断をどうに置くかか。これは、議会、行政、ともに真剣に見つめて行かなければならない問題であります。

地改良、林道整備などで、意欲的に取り入れられています。商工、労働部門、観光への提言も、この部門の担当です。委員 長 石橋修二・副委員長 池尾正雄・委員 藤田清志・松崎幸雄・木橋正昭・辻野健一・宮川昌治
教育民生常任委員
福祉の教育、生活環境の整備、我が国の政策で大きく取り上げられてきている政治姿勢も地方自治体が、老人医療などに見せた社会福祉への積極的な姿勢を根幹にしています。文化財教育の問題、とくに最近の大形消費時代を背景に、ごみ



発刊によせて

多様、激しい動きを見せつつあります。ともすれば、経済効率中心であった今日までの政治が、経済のひずみ、過疎と過密の深刻な現状を道り上げ

して行くか、これは極めて重大な課題であります。豊かな風光と文化に恵まれた我が小浜市が、これからの経済基盤の開発の焦点をどこに求めるか？
生活、産業、商工業、社会福祉、教育など、諸政策の調和点

小浜市議会は、その基準を、あくまで「市民の生活の福利」でなければならぬと考えます。「市民に密着した市政」それが議会の使命であることは申すまでもありません。
三万四千市民の英知を結集する。その動脈が市議会の生命であります。

たことも、いなめません。環境汚染、社会福祉への対策が、次第に大きな比重を見せてきております。これら社会状況の中で、地方自治体、とくに経済基盤に恵まれない地方自治体が、どう対処

をどうに置くかか。最近、クローズアップされてきている低開発地域への開発のメリット、デメリットの価値判断をどうに置くかか。これは、議会、行政、ともに真剣に見つめて行かなければならない問題であります。

地改良、林道整備などで、意欲的に取り入れられています。商工、労働部門、観光への提言も、この部門の担当です。委員 長 石橋修二・副委員長 池尾正雄・委員 藤田清志・松崎幸雄・木橋正昭・辻野健一・宮川昌治
教育民生常任委員
福祉の教育、生活環境の整備、我が国の政策で大きく取り上げられてきている政治姿勢も地方自治体が、老人医療などに見せた社会福祉への積極的な姿勢を根幹にしています。文化財教育の問題、とくに最近の大形消費時代を背景に、ごみ

市民英知の動脈に
小浜市議会議長 堂前武司

